

様式第2号（第5条関係）

平成26年3月3日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 三田源幸 

このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成25年7月26日 ～ 平成25年7月28日まで
- 2 旅行先 法政大学
- 3 目的 「市民と議員の条例づくり交流会議2013」に参加
- 4 関係書類 別紙のとおり

日 時	平成 25 年 7 月 26 日 15:00 ~ :
視 察 先	衆議院 議員会館
調査事項	
対 応 者	
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	○衆議院議員 稲津 久氏 衆議院第2議員会館 4階 413号室 ○衆議院議員 渡辺 孝一氏 衆議院第1議員会館 5階 520号室 両代議士を訪問し、栗山町の問題や、 各政権与党、国の動向について 意見交換をした。 特に TPP については 現存の交渉に ついてや、栗山町議会としては「絶対 反対」意思を表わしていることを 伝え、今後協力になっていかなる ことをお願いした。

日 時	平成25年 7月27日 13:30 ~ 18:00
視 察 先	法政大学
調査事項	議会改革
対 応 者	「市民と議員の条例づくり交流会議」
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	全体会 第1部「市民と議会の現段階と到達点」(調査報告) ・長野 基氏(首都大学東京、交流会議運営委員) ・廣瀬克哉氏(法政大学、交流会議代表運営委員) ・議会改革について 何らかの検討している 74% いない、25% ・議会基本条例について 全国で371(20.7%)で制定 約30%が改正を計画 ・議会と市民の対話の場(意見交換会、議会報告会等) 635(40.5%)で実施 ・議員の議案に対する賛否について 公開している 720(45.6%) ・政策形成について (20/24 1月~12月の間) 議員委員会が「政策的条例案」の提案 131(84%) 可決 84(54%) 議員からの修正案の提出 301(19.2%) 可決 159(10.2%) ・議会による事業、施策、計画の評価・点検について 行った議員 事務局評価 37(2.5%)、施策評価 12(0.8%)、政策評価 3(0.2%) 自治体計画の進捗評価 8(0.5%) ・議会事務局の人員増強について (直近5年間) 正規職員を増員 83(5.3%) その他増員 130(8.3%) 従員強化 49(3.1%) ・議会事務局の機能強化について 衆参議院、県議会への研修派遣 10(0.6%)、大学等の連携 26(1.7%) 近隣自治体事務局との合同政策調査 58(3.7%)

第2部「復興の地域がバタスをつなぐ自治体議会」

コーディネーター 饗庭 伸 (首都大学東京、交流会議運営委員)

問題提起宮城 孝 (法政大学現代福祉学部教授)

現地から 伊藤 カ也 (岩手県大船渡市議会議員)

小黒 敬三 (福島県浪江町議会議員)

菊地 広人 (いわて連携復興センター)

コメント 中尾 修 (東京財団研究員)

○岩手県大船渡市議会は東日本大震災の経験により
災害対応指針を定め、災害対策活動を支援するとともに
被災者と情報共有、連携、相談等を行うとする。

又、大船渡市議会災害対策会議設置要綱を作成し、
組織、所掌事務、対応等を定めている。

○浪江町の現状 (H25.4.30現在)

人口 19,607人、7,275世帯 災害時 703人死

仮設住宅など 6,485世帯、13,606人

議会はどう動いたか、

1期 (H23年3月11日～H24年3月) まは話しを何う。

市民からの不便、不満、要望の聞き取りを仮設住宅や
避難所(県外も含め)での懇談会 41会場 1893人参加

2期 (H24年4月～H25年3月) 課題ごとの要望の聞き取り

損害賠償、放射能と健康管理、住宅、除染
警戒区域、情報などについて 12会場 472人参加

意見をまとめる(68回)国に対して要望活動をした。

第3部「どうだった？ネット選挙活動-自治体選挙当事者の第一報」

コーディネーター 廣瀬克哉 (法政大学、交流会議軍営員)

パネラー 神宮信え (ロカル・マニフェスト推進ネットワ-7九州)

原田謙介 (Youth Create, One Voice Campaign)

① ネット選挙で期待したことは？

・ネット世代の若者の政治参加である

・政治に関心はあるが、選挙離れになっている

・自分が行動して何が変わるという意識が低い

・若い人が抱えている問題に対して政治が反応していない

② 国会議員対象に最も期待する効果はと聞くと

政策や主張が伝わりやすくなる 75%

有権者の考えや意見が汲み取りやすくなる 14%

③ 住民参加の方法としては？

ネット中継 視聴者数 62人

Facebook 書き込み数 54人

・投票の参考にしたか？

大いに 4% ある程度 12%